

県 中 広 報

事務局発行 (E-mail : h34@ken-chu-hiroshima.nss55.net)

令和6年9月13日

(<http://www.ken-chu-hiroshima.nss55.net/>)

令和6年度基本姿勢 “ 連携 結束 創造 ”

令和6年度広島県公立中学校長研修大会並びに代議員会

令和6年5月28日(月)、広島県民文化センターにおいて、広島県教育委員会教育長 篠田智志様をはじめ、広島県公立中学校長会 顧問 久保好寛様にお越しいただき、研修大会並びに代議員会を開催しました。代議員会では、令和5年度活動報告・決算書、令和6年度活動計画・予算書、大会宣言決議に関して承認を得ました。研修大会では、四専門委員会から令和5年度及び令和6年度の活動について報告があり、広島県教育委員会 義務教育指導課 教育指導監 村田耕一様から指導講話をいただきました。



また、長崎県立大学 学長 浅田和伸(あさだかずのぶ)様から、「なしてわざわざ勉強しに行くん?」と題して、御講演いただきました。「学校は何のためにあるのか、子供たちは何のために学校に行くのか、教師は何のためにいるのか、私たちがやっていることは、子ども達の幸せにつながっているだろうか」と、「教育の<原点>は何だろう」という投げかけから御講演が始まりました。その後、学習指導要領改訂の考え方や中教審「令和の日本型教育」の構築を目指して(答申)のポイント、更には学校における働き方改革、地域と学校の連携・協働の必要性等について再確認するとともに、データや数値を示しながら「変わりゆく社会と学校について」触れられ、最後に、「学校を元気にしよう、希望を持ってやれることをやりましょう」とメッセージをいただき、元気をいただきました。

第2回理事会

令和6年6月7日(金)、東区民文化センターにおいて、令和6年度第2回理事会を開催しました。

会長挨拶 開会に当たり谷川会長から、①県中校長会研究大会並びに代議員会開催へのお礼、②人材育成の観点からも教頭の勉強する機会への配慮について、③中国・四国中学校長研究大会広島大会への協力をお願いの3点について、挨拶がありました。

報 告

- (1) 全日中第1回理事会報告……………谷川 清二 会長
- (2) 全日中総会報告……………河北 光弘 副会長
- (3) 会務報告……………郷地 忠幸 事務局長
- (4) 県公連理事会・評議員会報告……………河北 光弘 副会長
- (5) 県公連不祥事防止対策特別委員会報告…木村 健二 幹事
- (6) 四専門委員会報告

学校経営：荒森 圭子 委員長、教育研究：大島 美紀 委員長
進路指導：松田 智広 委員長、生徒指導：小島 弘之 委員長

- (7) 県中学校教育研究会……………三原 隆行 会長
- (8) 県中学校体育連盟……………村井 康敏 会長
- (9) 第58回中国・四国中学校研究会広島大会…大会実行委員長

議 事

- (1) 令和6年度広島県公立中学校長新任研修会について……………木村 健二 幹事
令和6年8月1日(木)、例年通り、参集型で開催する。
- (2) 県中教育ビジョンの検証・評価について……………藤井 規光 幹事
県内全ての中学校長・義務教育学校長が5点の柱について評価・検証し、今後の取組に反映させていく。



情報交換

「部活動地域移行」「今年度の各郡市中体連の大会」「不登校傾向生徒等の校内での学びの場の確保」の3点をテーマとして、各郡市校長会の取組について情報交換を行いました。各理事からは、現実的な人材不足、大会を廃止にするか開催の可能性を考えていくのか、校内フリースクールの校内体制は空き教員で対応等が挙げられ、各校・各地区での工夫や対策が紹介され、共有しました。

不祥事防止対策

安芸・江田島、安芸高田、大竹・廿日市の理事から、教職員が自分事として捉えることができる為に、効果的な教材（文部科学省資料、岡山県教委資料等）を使っでの研修内容等について紹介されました。

第58回中国・四国中学校長研究会広島大会

6月・20日
(木)・21日



(金)、大会主題を「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」とし、第58回中国・四国中学校長研究会広島大会が開催されました。一日目は、文部科学省 初等中等教育局 主任視学官 田村学様から、「当面する初等中等教育上の諸課題」について、教育の不易と流行、羅針盤を踏まえた第4期教育振興計画をはじめ、教師を取り巻く環境整備、GIGAスクール構想の推進、いじめ・不登校支援対応について等、全15課題を挙げられ御説明いただきました。午後からは分科会・各班に分かれ、それぞれ討議の柱を踏まえ、自己紹介・感想→意見・感想の整理→協議→まとめの流れで、ホスト県である広島県内の校長先生が司会進行をしました。

二日目には、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所 教授 津田雄一様から『「はやぶさ2の奇跡～挑戦を支えた組織マネジメントとチーム作り～」と題して、ご講演いただきました。「生徒に「夢を持とう」とよく言うが、今回のまとめで言われた『小さな興味を育てていったら、夢のようなことができた』にドキッとした。多様性の中、何がスタートでもいい、どこから始めてもいい、ただし、我々校長は、どの職員が、どの生徒が、いつどんな時でも立ち止まっていたら、俯瞰した目で、ちょっと背中を押してあげることが必要だと思った。」等の感想がありました。



終わりに、今年度広島大会を開催するにあたり、令和3年からこれまで中心に御準備いただきました呉市の校長先生方の素晴らしい一体感と結束力に、改めて感謝するとともに、県内全ての校長先生方の叡智が結集され、「新たな価値の創造を学びの変革地 広島から」の大会スローガンのもと、成功裡に終わることができました。引き続き、「連携 結束 創造」のもと、当面する諸課題に取り組んでいきましょう。

第2回四専門委員会

6月28日（金）に、東区民文化センターにおいて、第2回四専門

委員会を開催し、次の内容のアンケートを検討するとともに情報交換を行い、学校が抱える課題や悩みの解消に資するものとなるよう熱心に協議されました。



学校経営 働き方改革や業務改善に係る調査・研究 **教育研究** 授業改善等についての調査・研究
進路指導 キャリア教育の推進に係る調査・研究 **生徒指導** 不登校及びインターネットに係る調査・研究

令和6年度広島県公立中学校長新任研修会

8月1日（木）、広島県公立中学校長会新任研修会を開催しました。2名の先輩校長からの講話、グループ別研修の後、県教育委員会乳幼児教育・生涯学習担当部長(兼)参与 重森栄理様から指導講話をしていただきました。最後に、東広島市立磯松中学校 立田晃校長が決意を表明され、全日程を終了しました。

<研修内容>

【講話1】：「先輩校長に学ぶ」 呉市立天応学園 坂口守校長

【講話2】：「2年目校長からのメッセージ」 三原市立第五中学校 居川あゆ子校長

【グループ別研修】：「学校経営計画の具現化に向けて」 3グループに分かれて実施

【講話3】：「新任校長に期待すること」 広島県教育委員会 乳幼児教育・生涯学習担当部長(兼)参与 重森栄理様

